

2021年6月5日(土)〜7月4日(日)

館蔵品展

はじめまして、

かけじくです

開館時間・9時30分〜17時（入館は16時30分まで）

休館日・月曜日

観覧料・無料

板橋区立美術館

TEL 03-3397-9132  
FAX 03-3397-9132  
URL <https://www.city.itabashi.tokyo.jp/artmuseum/>



板橋区立美術館  
ITABASHI ART MUSEUM



鈴木其一「蝶二芍薬図」江戸時代 板橋区立美術館蔵

両面テープ貼り位置

✂ キリトリ

### マイかけじくを作ってみよう

**材料** 太さ5mm・長さ9cm程度の棒…1本  
30cm程度のヒモ…1本

**道具** ハサミ、両面テープ、セロハンテープ

**作り方**

- ① キリトリ線 --- に合わせて切り、飾りたい絵を裏にして置く。
- ② 一番下に両面テープを貼り(右図) その上に左右均等になるように棒を置いて、棒を包み込むように丸めながら固定する。
- ③ 上の折り線 ..... で折り、ヒモを挟み込んでテープで留める(右図)。
- ④ ヒモを結んで完成。



詳しい作り方や  
応用編はこちら



「両面テープ貼り位置」の上部の黒線を越えて青線まで両面テープを貼ると仕上がりが綺麗に。



長く残す  
ヒモを結び目から片方だけ長く残すと巻いた時の留め具になります。



ねこさんや、  
かけじくって  
なんだろうな？

にゃ！

ねこ

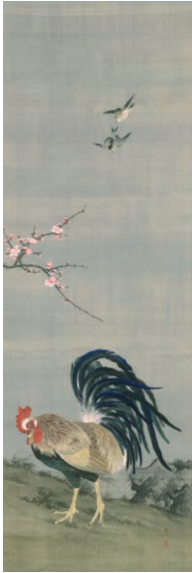
大文字屋市兵衛  
だいもんじや いちべえ

掛軸とは、書や絵を壁や床の間に飾って鑑賞できるように仕立てたものです。日本には仏教の伝来と同じ頃に伝わったようで、主に礼拝や儀礼に用いられました。鎌倉時代末頃には山水や人物、花鳥画など鑑賞を目的とした作品が定着していきまます。江戸時代になると町人など幅広い階層の人々が掛軸を楽しむようになり、多くの作品が制作されました。

本展覧会では江戸時代の作品を中心に、縦長・横長といった画面の形による表現の違いや、対で鑑賞する面白さ、作品とともに現代まで伝わる箱や文書など、さまざまな角度から「掛軸」を紹介します。

# はじめても、かけじくです

絵のまわりの  
ひょうそう  
表装も手描きで  
めずらしい!

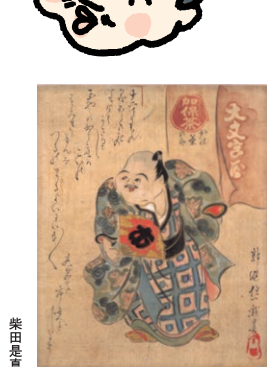


谷文中「梅下双鶏図」江戸時代



狩野常信「内裏雜圖」1809文化6年

セットで見ると  
画面がつながる



酒井抱一「天文字屋市兵衛像」江戸時代

いろいろな形!



沖一職「花鳥図」江戸時代

ねこと  
市兵衛さんも  
いるよ



作品はすべて板橋区立美術館蔵

関連イベントについては当館ホームページをご確認ください。

## 交通案内

- 徒歩 都営三田線「西高島平駅」下車徒歩約13分
- 路線バス 1時間に1~2本程度 所要時間約10分
  - ① 東武東上線「成増駅」北口2番のりば「増17 区立美術館」経由 高島平操車場」行きにて「区立美術館」下車 ※東京メトロ有楽町線・副都心線「地下鉄成増駅」(5番出口)も利用可
  - ② 都営三田線「高島平駅」西口2番のりば「増17 区立美術館」経由 成増駅北口」行きにて「区立美術館」下車
- タクシー 東武東上線「成増駅」北口または都営三田線「高島平駅」西口より約5分

新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため、マスクを着用されていない方はご入館いただけません。原則としてグループでのご観覧はご遠慮ください。館内では係員の指示に従ってください。また、記載内容について変更する場合がございます。予めご了承ください。

時刻	平日	土	日・祝
① 成増駅北口2番のりば発	9 17 48	24 48	32 55
10	24	24	22
11	00 36	00 36	00 36
12	12 48	12 48	12 48
13	24	24	24
14	00 36	00 36	00 36
15	12 48	12 48	12 46
16		20	20
② 高島平駅西口2番のりば発	9 13 53	15 51	31 53
10	27	27	27
11	03 39	03 39	03 39
12	15 51	15 51	15 51
13	27	27	27
14	03 39	03 39	03 39
15	15 51	15 49	15 51
16		23	23



野崎真一「富士・三保松原図」江戸・明治時代

両面テープ貼り位置

✂ キリトリ

